学校番号	407

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新家庭総合　（実教出版）						
副教材等	新家庭総合学習ノート　（実教出版）　　家庭科 55 デジタル＋（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
- 生活の様々な現象や課題を実習・演習等を通して考え、理解を深め知識を身につけます。他の人の考えや意見を知って、多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
- 実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけます。
- 学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させる。
【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想、実践、考察する力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の構築に向けて、地域社会に主体的に参画しようとする姿勢と、生涯を見通して生活の課題を解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自分らしい生き方と家族	自立と共生 ・「大人」と自分を比較し，不足している点を考える。 ・青年期の特徴について学ぶ。 ・これからの自分自身と社会のあり方を展望する。 ライフキャリア ・働く意義とどのような仕事(職場)で働きたいと思うかを考える。 ・職業労働と家事労働の違いをまとめる。 ・職業生活や家庭生活における時間の使い方について考える。 共に生きる家族 ・「家族」の条件とは何か考える。 ・家族のライフイベントについて考える。 ・家族が抱える問題を踏まえて，家族を支えるしくみについて具体的に考える。 家族に関する法律 ・家族に関する法律の資料を見ながら，考えをまとめて話し合う。 ・家族の抱える問題について学び，具体的なサポートのあり方について考える。	a:　・青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 ・生活にかかわる労働の意義，また，現在の労働環境などについて理解できる。 ・現在の生活時間の状況をふまえ，生活時間と労働との関係について理解できる。 ・結婚，家族・家庭の多様化や，時代とともに変化する役割について理解できる。 ・家族に関する法律についての知識を身につけている。 b:　・図表などから家族の形，家庭のあり方や役割について，また時代とともに変化した背景について読みとることができ，現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め，表現することができる。 ・家族・家庭に関する課題・問題点について，社会的な制度，労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し，解決へ導くための考えをまとめ，討論やレポートを通して発表することができる。 ・家族の変遷や家族に関する意識の変化，さらには，現在の家族の抱える問題・課題などについて，新聞や書籍などから情報を収集し，自らの考えをまとめることができる。 c:　・男女共同参画社会など，現在の社会的状況について，興味を持って知ろうとする態度がある。 ・労働の意義や役割，労働時間と	学習状況の観察 授業プリントの記述 レポート テストの結果　等	学習状況の観察 プリント レポート テストの結果　等	学習状況の観察 授業プリントの記述 振り返り 等

			生活時間との関わりについて関心をもち，現在の家族・家庭がかかえる課題を見いだそうとする。 ・結婚，家族・家庭の形，家族・家庭の役割について，自分とどうかかわっているのか，興味・関心をもとうとしている。 ・家族，家庭生活に関する法律について関心を持ち，家庭生活と法律との関係について，理解をしようとしている。			
2学期	衣生活をつくる	人と衣服のかかわり ・季節ごとの着こなしについて考える。 ・衣服の起源や歴史,風土に適した衣服について知り，人はなぜ衣服を着るのか考える。 ・衣服が持つ機能や安全性などについて学ぶ。 衣服の素材の種類と特徴 ・快適な衣服の特徴や機能について考える。 ・暮らしの中での素材衣服の性能と改善について学ぶ。 衣服の選択から管理まで ・衣服の入手から処分までの流れを学び，衣生活の計画を考える。 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について学ぶ。	a:・ 衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ，用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 ・衣服材料の性能と特徴，衣服整理についての科学的な知識や，縫製技術を身につけることによって，衣服を適切に選択し管理することができる。 b:・ 衣服の用途によって，適切な衣服素材を考え，判断することができる。 ・衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ，実生活での衣服管理において，適切な判断ができる。 c:・衣生活の文化や，自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち，衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。	学習状況の観察 授業プリントの記述 レポート テストの結果　等	学習状況の観察 プリント レポート テストの結果　等	学習状況の観察 授業プリントの記述 振り返り 等

		衣服をつくろう 被服実習	a: 衣服製作実習を通して，材料の選択，日常の管理の方法を習得するとともに，基礎的なミシン縫い・手縫いなどの縫製技術を身につけ，日常着の作成ができる。 b: ・完成した作品に刺し子などを施すことにより，自分らしさを表現することができる。 ・作成した衣服の着装などにおいて，自分らしく表現できる。 c: 衣服実習において，製作活動に意欲的にとりくんでいる。	学習状況の観察 作品 実技テスト テスト 等	学習状況の観察 作品	学習状況の観察 自己評価 等
3学期	経済的に自立する	暮らしと経済 ・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ・収入と支出にはどのような項目があるのか学ぶ。 ・適切な家計管理について考える。	a: 家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき，短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 b: 現在の経済社会と家計との関係を考えながら，家庭の収入・支出・預金などについて，適切な考えをもち，判断ができる。 c: 自分の経済的自立を考えながら，家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について，積極的に理解しようとし，短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。	学習状況の観察 授業プリントの記述 レポート テストの結果　等	学習状況の観察 プリント レポート テストの結果　等	学習状況の観察 授業プリントの記述 振り返り 等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度